

[22\_1] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :  
22(1)

<https://doi.org/10.15017/17999>

---

出版情報 : 図書館情報. 22 (1), pp.1-10, 1986-04-25. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :



九州大学附属図書館報

# 図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 22, No. 1 (1986 1~3)

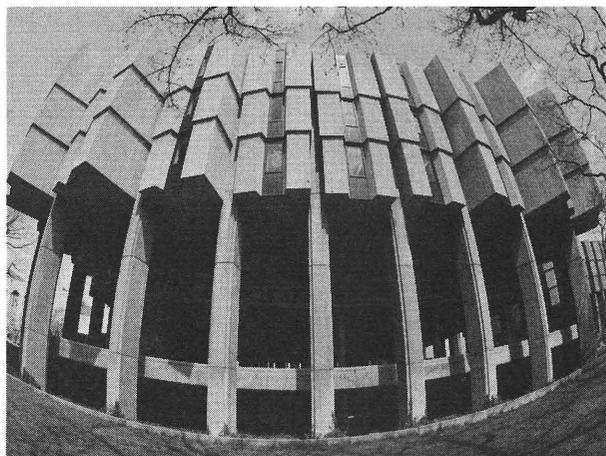
## 目次

- アメリカの大学図書館—ノースウェスタン大学の場合 ..... 1
- 中央図書館の部局別利用実態について—昭和59年度— ..... 3
- 全国・地域共同利用大型図書の備付けについて  
—昭和59年～昭和60年度— ..... 7

## アメリカの大学図書館 — ノースウェスタン大学の場合 —

丸 山 孝 一

学問に志す者は全て、大なり小なり図書館情報に通じていなければならないというのが私の信念である。その意味で、本誌は、小冊子ではあるが、貴重な情報誌として活用されており、これに寄稿の機会を与えられたことにいささか責任の重大さを感じている。たまたま寄稿依頼を受けたときは渡米直前であったので、従来から縁のあったノースウェスタン大学附属図書館について、利用者の立場から、私の知るところを披瀝して、何らかのご参考に供したいと思う。



(ノースウェスタン大学中央図書館外観)

ノースウェスタン大学(以下NUと略称する)といっても、ほとんどの方にはなじみがないと思う。NUはシカゴの北隣のエバンストン市(人口7万余)に在る私立大学で、アメリカでは中規模の総合大学である。NUの図書館はエバンストンの主キャンパスとシカゴ・キャンパスに二分される。後者は医・歯・法など大学院図書館の四分館があるが、私は利用したことがないので、以下エバンストン・キャンパスの中央図書館を中心に紹介する。エバンストンには地質学、数学、理工学各分館があるが、中心となるのは中央図書館とこれに接するデアリング図書館である。NUは1851年の創設であるが、重高な感じの石造建築であるデアリングが永年中心的役割を果たしてきた。私が初めてNUに客員研究員として滞在していた1967-68年頃、デアリングでは急増する蔵書量、情報体系再編過程の中で、活気はあったが、相当手狭な感じであった。そこで、1970年に新しい

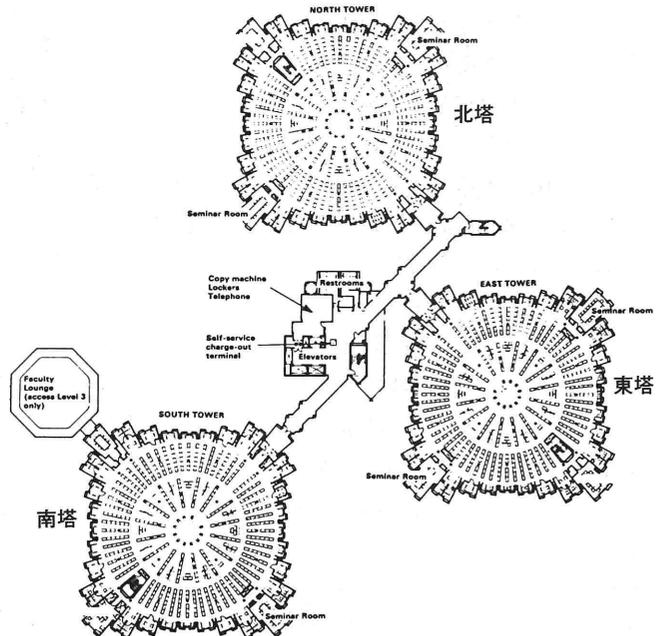
中央図書館が完成した。現在、全体の蔵書量は280万冊で、世界の大学図書館として最大規模を誇るハーバード大学(私が留学中の1966年頃700万冊であった)には遥かに及ばないが、全米で中規模よりやや上位に位置すると考えてよいだろう。

NUの図書館の開館時間は曜日や分室によって異なるが、中央図書館では原則として23時45分までで、閉館までねばる者が多い。また夜間以外は学外者にも開放されているのが特徴で、日本の大学図書館との違いを感じる。

本館の構造はユニークで、東、北、南三つの“塔”からなっている(図参照)。各塔は筒状で、書架は同心円状に並べられ、地下1階と地上5階から成る。各塔は各階とも廊下で結ばれ、中央部にエレベーターと複写室がある。中央部の1階には受付、案内、参考係、貸出し係、カード・カタログなど図書館の心臓部がある。1階には広い定期行物の部屋があり、その内容は新旧に二分され、利用者が多いので慎重な利用形態がとられている。ここには政府の刊行物も幅広く取り入れられ、国勢調査の資料なども全国のものはもちろん、シカゴ市が独自に分析した詳細な情報が電算機に資料として入力されている。地下室には交通に関する膨大な資料があり、交通図書室自体が隔月のジャーナルを刊行し、交通学に関するNUの特徴をなしている。地下にはまた数十ヶ国の日刊紙が航空便で取り寄せられていて、外国研究者にはもちろん、母国の情報に飢えた留学生によく利用されている。ニューヨーク・タイムズや地元紙のシカゴ・トリビューンなどは全てマイクロ・フィルムに入っているのも、そのインデックスとともに私もよく利用させてもらった。インデックスが完備することによって、定期行物の価値は格段に上る。

アメリカの大学の特徴として、NUにもキャレルがある。教官と大学院生のための専用の机で、個室もある。学期または年間を通して貸し与えられるので、資料を集めて集中的に論文をまとめるのに好都合である。円筒型の塔の窓側にキャレルはあるので、運がよければミシガンの青い湖水を外に見ながら研究する贅沢さが味わえる。各塔の中心軸部分には一般学生用の机が多数用意されている。

NUの図書館の最大の特徴は利用者の便利をよく考えたコンピューターが「完備」していることであろう。一階フロアの中心に、館内や分室に多数の端末機が配置され、著者、書名、テーマ(キーワード)別に必要な文献を瞬時に検索できる。1970年以降に発行された文献が先に入力されたが、それ以前のものも漸次入力されつつある。この検索プログラムはNUで



ノースウェスタン大学中央図書館見取図(部分)

独自に組まれたものでLUIS (Library User Information Service) と呼ばれる。学生は入学直後にその利用方法を教えらる。LUIS が利用できないと授業についてゆけないからである。これには雑誌も入っており、貸し出し中のものはその表示が出る。1982, 83年のことになるが、私がコロンビア、ハーバード、シカゴ、UCバークレー校、同ロスアンゼルス校、スタンフォードなど各大学図書館を訪問した時、各大学ともコンピュータ化に力を入れていたが、司書や管理者側でなく学生や研究者など利用者側の便利さから言えば、まだNUのLUISに一日の長があると思えた。雑誌は各大学ともマイクロ・フィッシュに入っていた。

私は主として民族性に関する人類学的研究のために図書館を利用してしたが、驚いたことに、読みたい本が図書館になくて困ったことはほとんどなかった。一体どんな本の買い方をしているのかと思って、親しい司書のTMさんに尋ねてみたことがある。すると、有力な出版社と契約を結び、その出版物をほとんど全部購入する他、教官や図書館職員が必要と思う本を入れるということであった。もちろん財源は有限であるから調整は必要であるが、現実には羨しい限りであった。図書館の有効利用のため、他大学との相互利用も盛んで、送料、手数料など、利用者負担がないのも有難かった。経費節約のため、学生アルバイトが多用されているのも、アメリカの大学の特徴である。館外貸出しはセルフ・サービスである。

図書館の充実は予算増だけでは充分でない。利用者、つまり学生、研究者、職員がいかに現状に不満を感じ、それをいかに改善するかについて意見を寄せ合い、工夫することにつきると思う。外国の事情を少し知った後でのささやかな感想である。 ～米国イリノイ州エバンストンにて～

(教育学部 助教授)

## 中央図書館の部局別利用実態について

— 昭和59年度 —

中央図書館は、学習図書館機能及び研究図書館機能を果すととも全学図書館組織の核としての性格を持っている。

立地上の関係から、その利用状況は箱崎地区利用者の利用度が高い。また、理・農両学部の図書室機能を吸収したことにより自然科学系研究図書館の性格が強められている。

ともあれ、現在、中央図書館が行っている運用サービスのうち、主要な下記業務についての部局別利用実態(昭和59年度)を参考までにグラフで図示するとともに若干のコメントを加えた。

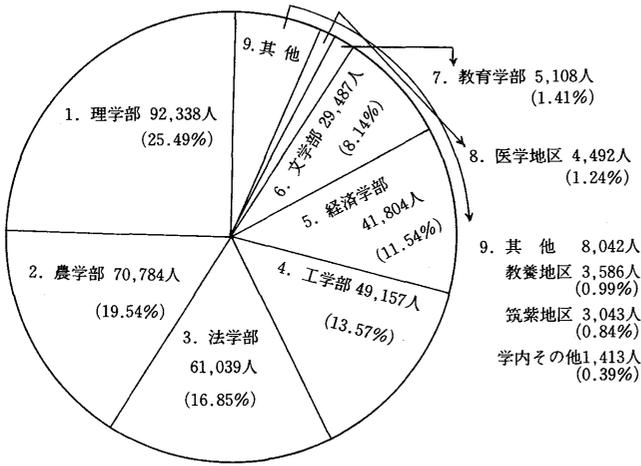
### 記

- ① 入館者数
- ② 貸出冊数
- ③ 全学共同利用複写機による複写数
- ④ 学外依頼の文献複写数
- ⑤ オンライン検索の利用者数
- ⑥ 語学演習室利用者数
- ⑦ 演習室利用者数

① 入館者数 (362,251人)

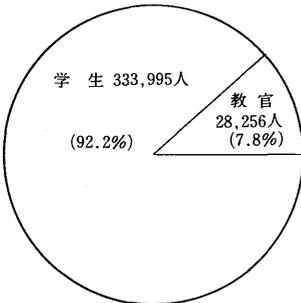
入館者数を見ると、理・農両学部の資料が集中配架されている関係上、両学部の入館者の割合は全体比45%の高率を示している。

その他、箱崎地区の学部はもちろん、距離的にも離れている医学地区、教養地区、筑紫地区の在籍者を含む全学の学生及び教官が利用のために来館している。

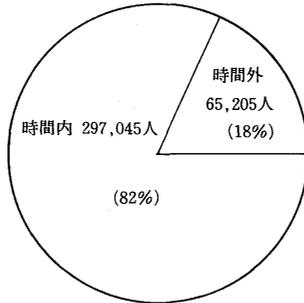


註：部局別入館者数は60.9.17～60.9.30の期間、入館者の実態を把握するためのサンプリング調査を実施した結果の比率を基に算定した。

①-2 教官と学生の比率



①-3 時間内と時間外の比率

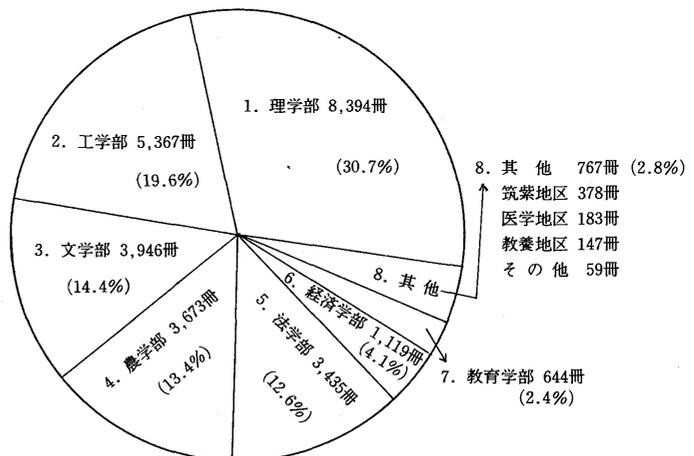


註：時間内 平日 9.00-17.00  
土曜日 9.00-12.00  
時間外 平日 17.00-20.00  
土曜日 12.00-16.30

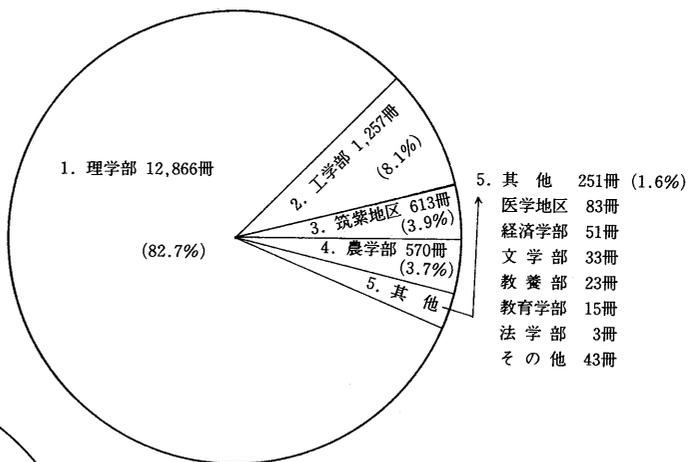
② 貸出冊数 (総数47,112冊)

当館には、中央図書館の図書や雑誌のほか、理学部及び農学部の資料が収蔵されている。②-1は、中央図書館所蔵資料についての貸出状況を表したものである。至極当然ではあるが、中央図書館の資料に限っては理系・文系の別なく箱崎地区の利用者を主体に利用されており、その割合は92.7%に達している。

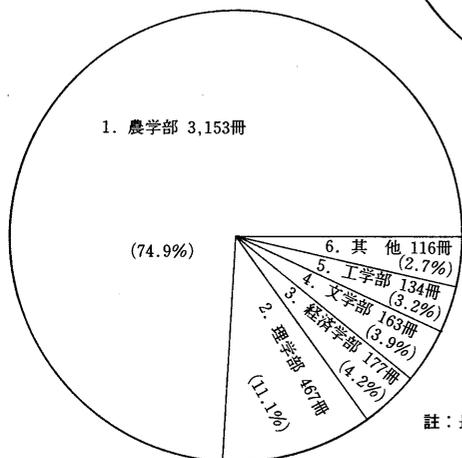
②-1 中央図書館所蔵資料 (27,345冊)



②-2 理学部所蔵資料 (15,557冊)



②-3 農学部所蔵資料 (4,210冊)



②-2 及び②-3 は、理学部及び農学部資料の貸出統計であり、蔵書構成の関係上、それぞれの学部利用者の利用度合が顕著である。

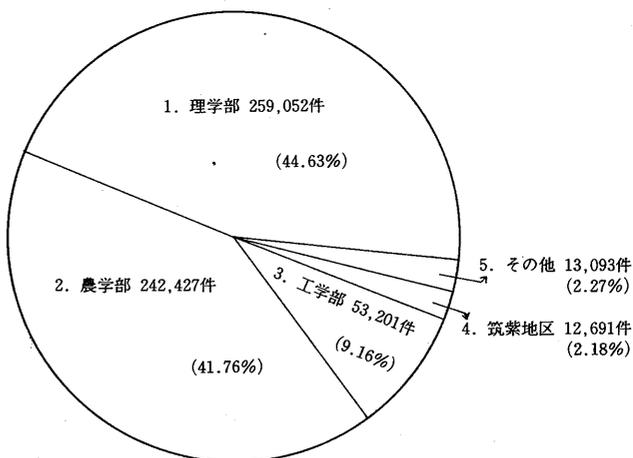
註：長期貸出は除く。

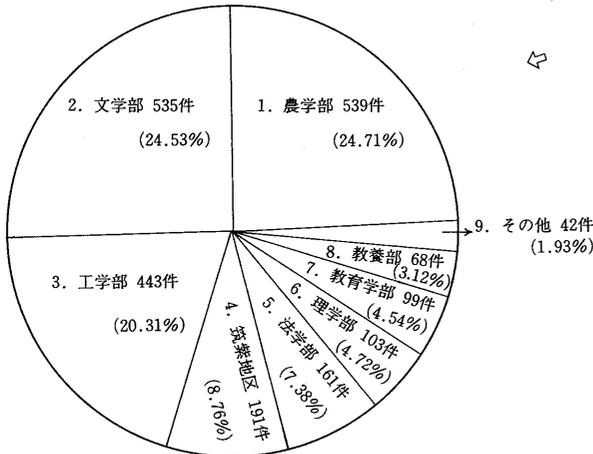
③ 全学共同利用複写機による複写数 (580,464件)

館内資料の複写については、閲覧・貸出とともに利用者に対する図書館の基本的サービス業務として定着している。

当館における文献複写の実態は、その大半が雑誌論文であるが、新着誌を含む所蔵雑誌の全てを館内に常置させている理・農両学部の利用度が極めて高い。また、工学部及び筑紫地区の利用者がこれにつづいており、理系研究者の年間複写件数は567,371件(冊)となっている。これは年間複写総件数580,371件の97.7%にも達している。

貸出業務の変形としての文献複写サービスは、当館にとって欠くことができない機能であることが立証される。





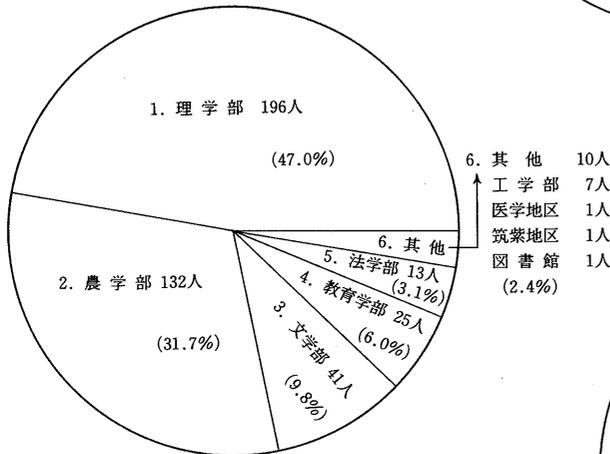
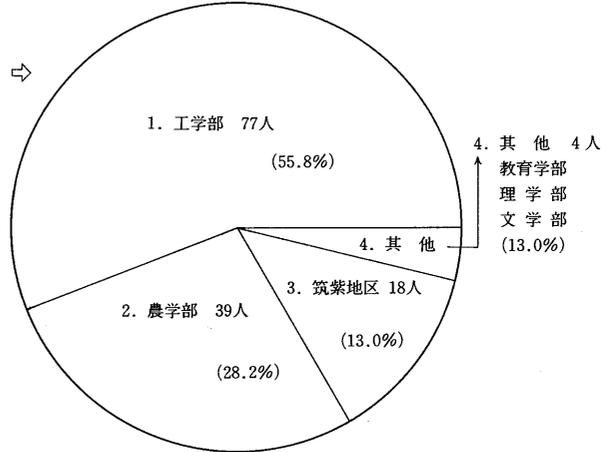
④ 学外依頼の文献複写数 (2,181件)

当館では、両分館とともに利用者が必要とする資料が本学に未所蔵の場合、相互利用掛が窓口となり学外の所蔵機関を調査のうえ、複写依頼を行っている。その依頼先は国内の国公立大学図書館や国会図書館等のほか、国外の大学図書館、BLLDなど非常に多岐にわたっている。

本学では、医学地区を除く農学部、文学部及び工学部利用者の依頼度が高く全体の約70%に及んでいる。研究・教育を行うにあたって資料の充足率が十分ではないことが窺える。

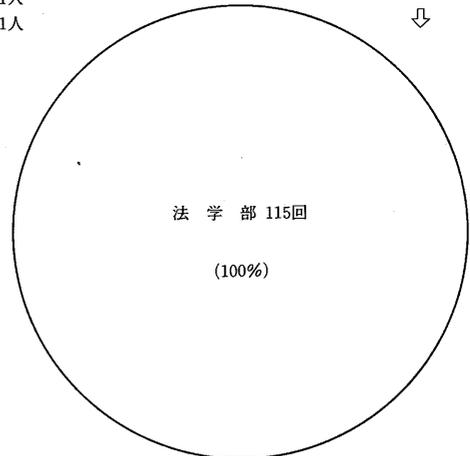
⑤ オンライン検索の利用者数 (138人)

昭和56年にJOIS、翌57年からはDIALOGを導入し、研究者が必要とする文献情報の検索要求に応じている。JOISのファイルは別として、DIALOGファイルについては、人文・社会科学分野のメニューも数多く用意されているが、本学においては理系研究者の利用が、ほぼ100%に近い実態である。



⑦ 演習室利用数 (115回)

演習室は3室であり、小グループによって行うセミナー等の利用に供しているが、法学部の利用が100%である。



⑥ 語学演習室利用数 (413人)

語学演習のための施設として、カセットデッキ(記録再生装置)を配置した8のブースを備えるとともに英独仏など世界各国語の教材テープとテキストを整備している。

総利用数は417人であり、理・農両学部利用者の利用度が極めて高い。

((( 資料紹介 )))

**全国・地域共同利用大型図書の備付けについて**

この資料は人文・社会科学分野で全国・地域共同利用を目的としています。次のリストは昭和59年～60年度に配分された資料名の一覧です。利用に際しては、前もって各大学図書館に問合わせて下さい。当資料の目録・解説等一部は中央図書館参考図書室にあります。

**大学別全国・地域共同利用大型図書備付一覧（昭和59年度～昭和60年度）**

**〔外国図書〕**

北海道大学  
ベルンシュタイン・コレクション

岩手大学  
英国判例集1220～1865

東北大学  
米国連邦議会・委員会刊行諸報告書・文書1789～1903  
19世紀英国下院議会文書1801～1900

山形大学  
近代中国史料叢刊正編

千葉大学  
イギリス議会制定法集及び関係資料集

図書館情報大学  
印刷・製本・出版関係コレクション

筑波大学  
新大陸の赤道地方への旅行記

東京大学  
17～20世紀フランスの教育学

東京医科歯科大学  
アメリカ独立革命に関する発行されたパンフレット

東京学芸大学  
欧米障害児教育基本文献集成

東京芸術大学  
ルネッサンス寓意図像稀観本コレクション  
音楽学位論文集

横浜国立大学  
ヨーロッパの大縮尺地図集成

静岡大学  
日刊紙 Le Monde 1944～1983

新潟大学  
西洋古典叢書 全997巻

金沢大学  
国連条約集

名古屋大学  
英国近世初期書籍集成  
リトルトン・コレクション

京都大学  
ゴールドスミス・クレス図書館所蔵経済学基本文献集  
20世紀初頭英国下院議会文書集1901～1921

京都教育大学  
鍵盤楽器研究学位論文集

大阪大学  
ロシア語定期刊行物コレクション  
ロバート・オーウェン・コレクション

大阪外国語大学  
アラブ・イスラム・アフリカ言語・文化コレクション

兵庫教育大学  
教育学コレクション

神戸商船大学  
英国版海図

奈良女子大学  
食物と栄養

和歌山大学  
イギリス産業革命期における都市衛生とその改善

島根大学  
景印文淵閣四庫文庫

岡山大学  
18～20世紀初頭フランス社会経済思想史コレクション

山口大学  
ギリシヤ・ラテン教父全集

高知大学  
ソ連・東欧に関する経済・法律資料集

福岡教育大学  
教育行政学・教育組織論研究論文集

九州大学  
両世界評論 Revue des Deux Mondes.  
ラテン金石碑文大成ラテン文書シリーズ

長崎大学  
ドイツ教育文献コレクション1750～1870

鹿児島大学  
海洋社会科学学位論文コレクション

琉球大学  
ハワイタイムス  
中国方志双書第三期

**〔国内図書〕**

北海道教育大学  
労働省資料労働運動史 昭20～52

図書館情報大学  
百万塔及び自心印陀羅尼

東京大学  
国策研究会文書

東京学芸大学  
双六コレクション

上越教育大学  
心理学研究

岐阜大学  
大東急記念文庫・古写・古版物語文学

三重大学  
連歌俳諧書集成

京都教育大学  
師範学校史・各教育史和文コレクション

神戸大学  
東寺百合文書

奈良教育大学  
近代日本教育統計資料集

徳島大学  
府県統計書集成（明・大・昭前）

愛媛大学  
通産省工業統計表

## 昭和61年度図書館開館等スケジュールについて

中央図書館・医学分館・教養部分館の昭和61年度の開館等スケジュールは下記のとおりです。  
 なお、特別の事情により開館時間等を臨時に変更する場合は、事前に掲示等でお知らせします。

### 記

#### <中央図書館>

##### 1. 延長開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 20:00

土曜日 9:00 ~ 16:30

<実施日>

昭和61年4月7日(月)~7月31日(木)

昭和61年9月2日(火)~12月26日(金)

昭和62年1月6日(火)~3月30日(月)

##### 2. 通常開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 17:00

土曜日 9:00 ~ 12:00

<実施日>

昭和61年4月2日(木)~4月5日(土)

昭和61年8月2日(土)~8月9日(土)

昭和61年8月18日(月)~8月30日(土)

##### 3. 閉館日(書架整理, 電算機保守作業日)

毎月第1日(ただし, 第1日が土曜日又は日曜日  
 の場合はその直後の開館日)

昭和61年8月11日(月)~8月16日(土)

昭和61年12月27日(土)

昭和62年1月5日(月)

昭和62年3月31日(火)

(なお, 閉館日は原則として自由閲覧室は開室  
 します。)

##### 4. 休館日

日曜日, 祝祭日, 年末・年始, 本学記念日(5月  
 11日), 本学創立75周年記念式典日(5月10日)

#### <医学分館>

##### 1. 延長開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 21:00

土曜日 9:00 ~ 16:30

<実施日>

昭和61年4月1日(火)~12月20日(土)

昭和62年1月6日(火)~3月31日(火)

##### 2. 通常開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 17:00

土曜日 9:00 ~ 12:00

#### <実施日>

昭和61年12月22日(月)~12月26日(金)

##### 3. 閉館日

昭和61年8月11日(月)~8月16日(土)

昭和61年12月27日(土)

昭和62年1月5日(月)

##### 4. 休館日

日曜日, 祝祭日, 年末・年始

#### <教養部分館>

##### 1. 延長開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 20:00

土曜日 9:00 ~ 16:30

<実施日>

昭和61年4月11日(金)~7月10日(木)

昭和61年9月9日(火)~12月25日(木)

昭和62年1月8日(木)~2月27日(金)

(前期, 後期とも定期試験前5日(平日)及び試  
 験開始7日(平日)の合計12日間は, 21時まで  
 開館を延長し, 実施日はその都度決定する。)

##### 2. 通常開館

<開館時間>

平日 9:00 ~ 17:00

土曜日 9:00 ~ 12:30

<実施日>

昭和61年7月11日(金)~8月9日(土)

昭和61年8月18日(月)~9月8日(月)

昭和62年2月28日(土)

昭和62年3月23日(月)~3月31日(火)

##### 3. 閉館日(閲覧・貸出業務停止日, 図書整理・ 点検, 電算機保守作業日)

毎月第1日(ただし, 第1日が日曜日の場合はそ  
 の翌日)

昭和61年4月2日(木)~4月10日(木)

昭和61年8月11日(月)~8月16日(土)

昭和61年12月26日(金)~12月27日(土)

昭和62年1月5日(月)~1月7日(水)

昭和62年3月3日(火)~3月20日(金)

##### 4. 休館日

日曜日, 祝祭日, 年末・年始, 本学記念日(5月  
 11日)

(((お知らせ)))

このたび、「JOIS」による情報検索サービス料金が別表のとおり改定になりました。海外導入データベースのファイルの接続料金が一律20円値下げに、又ユーザSDI料金の基本料金についても値下げとなりました。詳しいことは参考調査掛にお尋ねください。併せて「DIALOG」で主に使用されるファイルの現在の料金も掲載しました。

JOIS

1. オンライン料金 (昭和61年1月6日)

(☆印は外国からの導入データベースです)

料 金 データ ベース名	ファイル 接続料金 公衆回線	オンライン 回答出力料金 (ヒットチャージ)	オ フ ラ イ ン 料 金		
			手 配 料 金	回 答 出 力 料 金	
				Aタイプ (抄録付)	Fタイプ (抄録無し)
JICST	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
JCLEARING	200円/分	10円/件	500円/回	23円/件	17円/件
JTERM	200円/分	—	—	—	—
JCATALOG	200円/分	—	—	—	—
JMEDICINE	200円/分	10円/件	500円/回	29円/件	17円/件
JPUBLIC	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
NK-MEDIA	240円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
☆MEDLINE	180円/分	10円/件	500円/回	30円/件	20円/件
☆TOXLINE	375円/分	23円/件	500円/回	55円/件	37円/件
☆CANCERLIT	208円/分	10円/件	500円/回	43円/件	25円/件
☆MESH	180円/分	—	—	—	—
☆CA SEARCH	312円/分	51円/件	500円/回	—	68円/件
☆CASNAME	312円/分	—	—	—	—
☆BIOSIS	320円/分	30円/件	500円/回	—	46円/件
☆CAB	232円/分	70円/件	500円/回	95円/件	76円/件
☆NTIS	252円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
☆INSPEC	364円/分	58円/件	500円/回	95円/件	77円/件
☆FSTA	280円/分	26円/件	500円/回	51円/件	33円/件
☆EMBASE*	330円/分	21円/件	500円/回	51円/件	40円/件
☆MALIMET*	330円/分	—	—	—	—
COAL	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
INIS	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
IRRD	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件

2. ユーザSDI料金

(☆印は外国からの導入データベースです)

データベース	基 本 料	回 答 出 力 料 金
JICST	1,630円/1検索	35円/件
JMEDICINE	1,630円/1検索	29円/件
☆MEDLINE	1,470円/1検索	30円/件
☆CA SEARCH	1,780円/1検索	68円/件
☆EMBASE*	1,700円/1検索	51円/件

DIALOG

データベース名	ファイル使用料 /時間	全レコード(F5)/件	
		オフライン プリント料	オンライン タイプ料
BIOSIS	84 <sup>ドル</sup>	0.34 <sup>ドル</sup>	0.24 <sup>ドル</sup>
NTIS	69	0.25	0.25
COMPENDEX	108	0.47	0.35
AGRRIOLA	39	0.20	0.10
CA SEARCH	90	0.35	0.23

◆ 本学教官著作寄贈図書 ◆

＜中央図書館＞

大野 克郎 (工・名誉教授)  
大学課程 電気回路 (1)  
オーム社 昭61

和田 光史 (農)  
Ando Soils in Japan  
九州大学出版会 昭61

小島 恒久 (養)  
マルクスと向坂逸郎  
ありえす書房 昭61

山内 正一 (養)  
キーツ研究  
大阪教育図書 昭61

＜教養部分館＞

小島 恒久 (養)  
マルクスと向坂逸郎  
ありえす書房 昭61

福留 久大 (養)

これからの科学と技術 (九州大学公開講座  
13)

九州大学出版会 昭61

山内 正一 (養)

キーツ研究  
大阪教育図書 昭61

海老井 英次 (養)

原景と写像  
原景と写像刊行会 昭61

＜文学部＞

山内 正一 (養)

キーツ研究  
大阪教育図書 昭61

◆ 会 議

北部九州地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会

〈と き：昭和61年2月26日(水) ところ：九州大学中央図書館視聴覚室〉

上記の協議会が本地区6大学附属図書館の部・課長及び事務長の出席のもとに行われ、図書館業務の電算化及びネットワークにおける諸問題等について討議された。会議の主な内容は次の通りである。

- (1) システム開発の状況
- (2) 学総目欧文編データ作成について
- (3) 文献情報センターとの接続について
- (4) 機種更新 (リプレース) について
- (5) 目録業務における研修制度について

((( 利用の窓 )))

レファレンスルームから

アメリカの大学カタログ(英文・マイクロフィッシュ)の1983年版～1984年版をレファレンス事務室に備え付けましたのでご利用下さい。なお、最新のものは福岡アメリカン・センターで利用できます。

◆ 人事異動

3.31 河上 保 (医学分館目録掛長) 定年退職

◆ 日 録 (昭和61年1月～3月)

1.16 図書館運営改善検討委員会  
30 昭和60年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会  
2.26 北部九州地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会

2.28 外国雑誌センター館会議 於：東大附属図書館  
3.10～11 目録情報専門委員会 於：東大文献情報センター  
13 図書館運営改善検討委員会  
25 全学図書系掛長会議

九州大学図書館報「図書館情報」 Vol. 22, No. 1 (通巻141)

1986年3月28日編集 1986年4月25日発行

発行所 九州大学附属図書館・〒810福岡市東区箱崎6丁目10番1号 電話 641-1101 内線 2454